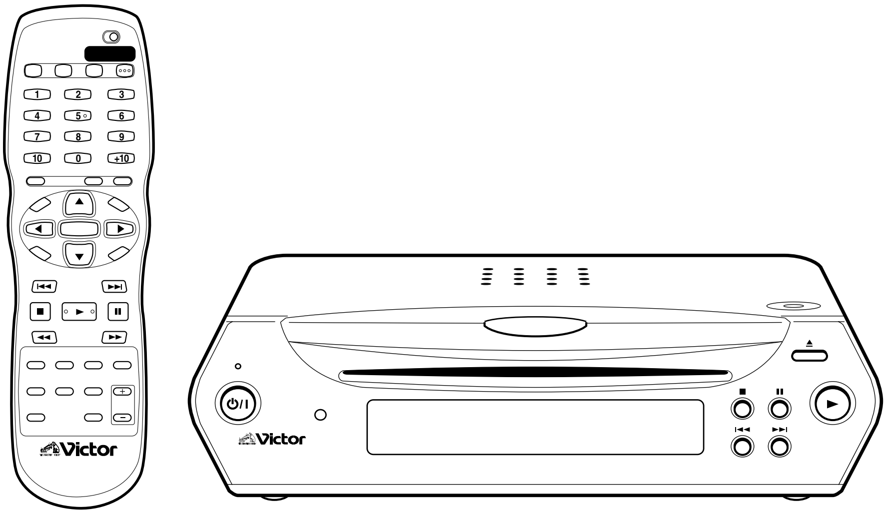
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

DVDプレーヤー

型名 XV-Q20-S/B/W



本機のリージョン番号は「2」です。「2(2を含む)」または「ALL」と表示されたDVDビデオのディスクに限り再生できます。

例）



リージョン番号とは：
国や地域ごとに割り当てられた番号です。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に3～5ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

お使いになる前に
接続と準備
すぐ使ってみる
いろいろな再生
初期設定を変更する
ご参考に

LET0226-001C

もくじ

お使いになる前に　ページ

接続と準備　ページ

すぐ使ってみる　ページ

いろいろな再生　ページ

初期設定を変更する　ページ

ご参考に　ページ

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタル･シアター･システムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタル･シアター･システムズ社の商標です。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

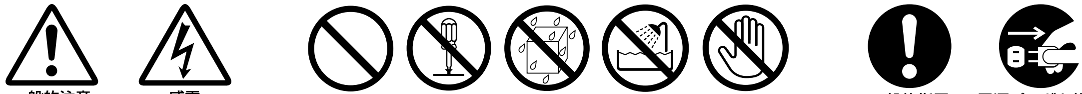
- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号　**行為を禁止する記号**　**行為を指示する記号**



一般的注意　感電　禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　水場での使用禁止　接触禁止　一般的指示　電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

電源プラグを抜く

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

分解禁止

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

水場での使用禁止

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

接触禁止

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向け、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ディスク挿入口に手を入れない。

手を挟まれないよう注意

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

⚠注意

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 磁気を発生する所

ご注意▶

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。
- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

- パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

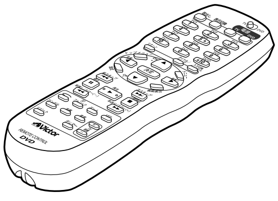
ご注意▶

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

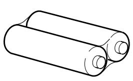
付属品

次の付属品が同梱されています。お確かめください。

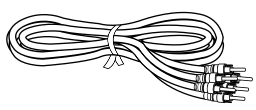
リモコン(1個)
RM-SXV030D



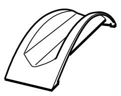
単3形乾電池
(2本)
(リモコン動作確認用)



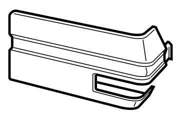
オーディオ/ビデオ
コード(1本)
(白赤黄)



スタンド(1個)



カバー(1個)



ディスクについて

再生できるディスク

次のディスクが再生できます。

DVDビデオ	ビデオCD/スーパービデオCD	オーディオCD
DVD VIDEO	Video CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc SUPER VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

次のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットで記録し、ファイナライズ処理されたDVD-R/RWディスク
- 次のフォーマットで記録されたCD-R/RWディスク
  - 音楽CD（ファイナライズ処理されたディスク）
  - ビデオCD
  - スーパービデオCD
  - ISO9660で記録されたMP3/JPEGディスク（詳しくは「MP3/JPEGディスクについて」をご覧ください）

ご注意▶

- ディスクの、傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。

おしらせ
- 本書では一部でスーパービデオCDを「SVCD」と表記しています。

次のディスクは音声のみ再生できます。
- MIX-MODE CD
- CD-G
- CD-EXTRA
- CD TEXT

再生できないディスク

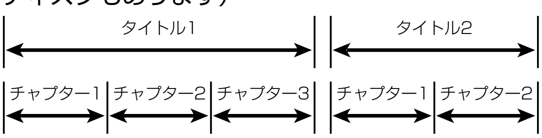
次のディスクは再生できません。誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
- VRフォーマットで記録されたDVD-RW
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- CD-ROM
- PHOTO CD
- SACD

破損したディスク、特殊な形状（直径12または8センチの円形以外）のディスクも再生できません。

ディスクの構成

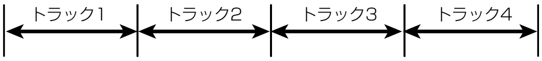
DVDビデオ

一般的なDVDビデオは、「タイトル」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター（章）」と呼ばれる小さな単位で構成されています。
それぞれに番号がついており、タイトルやチャプターを指定して、希望のシーンを再生することができます。（タイトルやチャプターに分割されていないディスクもあります）



オーディオCD/ビデオCD

一般的なオーディオCDやビデオCDは、1曲ごとに「トラック」と呼ばれる単位で区切られています。トラックには番号がつけられています。（トラックに分割されていないディスクもあります）



MP3/JPEGディスクについて

パソコンなどで作成したMP3ファイル（音声）やJPEGファイル（画像）を収録したディスクを、本書ではそれぞれMP3ディスク、JPEGディスクと呼びます。

おしらせ
- MP3ファイルとJPEGファイルの両方が収録されているディスクは、初期設定でどちらのファイルを再生するか選択します（☞28ページ）。
- MP3/JPEGディスクが入っていると初期設定画面が表示できません。

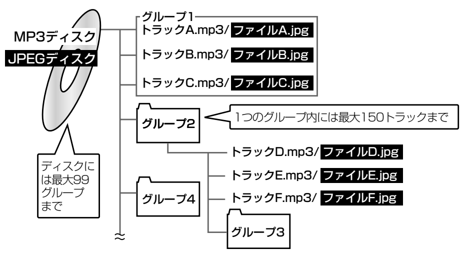
再生できるMP3/JPEGディスクおよびファイル

- ISO9660フォーマットで記録されているディスク（パケットライト（UDFフォーマット）形式で記録されたディスクは不可）。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生可能。
- 「.mp3」、「.jpg」または「.jpeg」の拡張子がついたファイル（大文字小文字が混在した拡張子も可）。

MP3/JPEGディスクの構成

本書（本機）では、ＭＰ３ファイルを「トラック」、JPEGファイルを「ファイル」と呼びます。トラックやファイルのまとまりを「グループ」と呼び、ファイルを格納するフォルダはグループとして扱います。

おしらせ
- ファイルが入っていないフォルダは、グループとして認識されません。
- フォルダに入っていないファイルはグループ1のトラックまたはファイルとして扱われます。
- 本機は、1枚のディスク内に最大99のグループ、各グループ内に最大150のトラック/ファイルが認識できます。これらを超えるものは認識できず、再生できません。またグループ（フォルダ）内にMP3/JPEG以外のファイルが含まれるとき、認識できるファイル数が150に満たないことがあります。



MP3/JPEGディスクやファイルについて知っておいて欲しいこと

- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック(ファイル)の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3ディスクのトラックやJPEGディスクのファイルの、プログラム/ランダム再生はできません。
- MP3/JPEGファイルのファイル名に半角英数字以外の文字が使われていると、MP3コントロール画面(☞ 25ページ)やJPEGコントロール画面(☞ 25ページ)にトラック/ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- MP3コントロール画面に表示されるトラック/グループの順序、およびJPEGコントロール画面に表示されるファイル/グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル/フォルダの順序と異なることがあります。
- MP3ファイルのID3タグには対応していません。
- MP3ファイルは、サンプリング周波数44.1kHz、転送レート128kbpsで作成されたディスクを推奨します。
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルが再生できます。
- JPEGファイルの解像度は「640×480」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、水平解像度が2400ピクセルを超える画像は表示できません。
- JPEGディスクをスライドショー再生(☞ 26ページ)しているとき、スクリーンセーバー機能は働きません。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のテレビ方式(PAL等)用のDVD/ビデオCDも、NTSC方式に変換して再生できます。

DTSの音声出力について

本機では、DTSで記録されたDVDビデオやオーディオCDの音声はアナログ出力端子から出力されません。これらのディスクを正しく再生するには、DTSデコーダーを搭載した機器を本機のデジタル音声出力端子に接続する必要があります。

ご注意▶

本機のデジタル音声出力端子を、DTSデコーダーを搭載していない機器に接続しているときは、DTSのディスクを再生しないでください。大音量により、耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損する恐れがあります。

ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

以下のことにご注意ください。

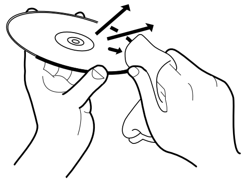
- ディスクを取り出すときは、ケースの中心を押しながらディスクを持ち上げてください。
- ディスクを傷付けたり、汚したり、テープや紙やシールなどを張り付けないでください。
- ディスクに無理な力を加えたり、反らせたりしないでください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところ、暖房器のそばや車の中などに放置しないでください。

ご注意▶

破損したディスク、特殊な形状(直径12または8センチの円形以外)のディスクを入れないでください。
また、8センチディスクは、本機にそのまま入れてください。8センチCD用アダプターを取り付けた状態では再生しないでください。
故障の原因となることがあります。

ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についた指紋やほこりは、柔らかい乾いた布で中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

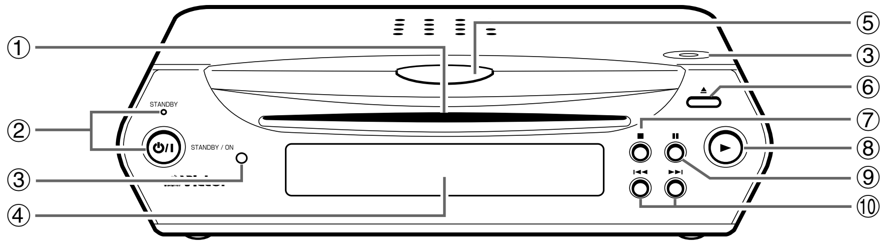


- アナログレコード用のクリーナーやシンナーなどの溶剤は使わないでください。
- ディスクの再生面には触れないでください。

- DVDビデオ、およびビデオCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

各部の名称

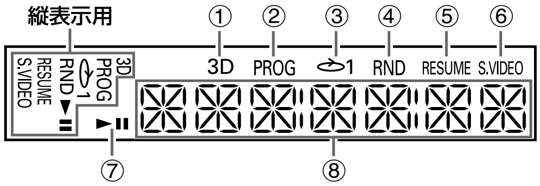
本体前面



①ディスクスロット 16
②⏻/I STANDBY/ON(電源)ボタンと
STANDBYランプ 16
③リモコン受光部(正面・天面) 16
④表示窓(下の説明を参照してください)
⑤動作ランプ 16

⑥▲(取出し)ボタン 16
⑦■(停止)ボタン 17
⑧►(再生)ボタン 16
⑨❚❚(一時停止)ボタン 17
⑩|◄◄、►►| ボタン 17

表示窓



①3Dフォニック表示 23
3Dフォニックモード中に点灯。
②プログラム表示 20
プログラム再生モード中に点灯。
③リピートモード表示 21
現在のリピートモードを表示。
④ランダム表示 20
ランダム再生モード中に点灯。
⑤リジューム表示 18
リジュームモード中に点灯。
⑥S.VIDEO表示. 11
S1映像出力端子にケーブルが接続されているとき点灯。
⑦►/❚❚ 表示 16
再生中は「►」、一時停止中は「❚❚」が点灯。
⑧マルチ情報ウィンドウ.................................. 16
グループ/タイトル/トラック/チャプター番号、時間、状態などを表示。

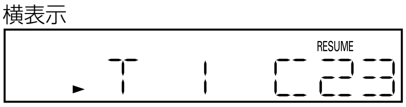
表示窓の明るさの変更

部屋の明るさなどに応じて表示窓の明るさが変更できます。お買い上げ時はもっとも明るく設定されており、リモコンの(ディマー)を押すごとに暗くなります。3回押すと完全に消灯します。消灯した状態でさらに(ディマー)を押すと、もっとも明るい状態に戻ります。

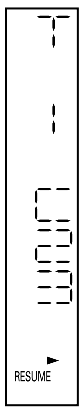
表示の切り換え

設置時に本体背面の置き方スイッチを切り換えると、表示窓の縦表示と横表示が切り換わります(☞ 12ページ)。
リモコンの(表示切換)を2秒以上押すと、表示の向きを切り換えることができます。
また、(表示切換)をポンと押すごとに、タイトル·チャプター/トラックの表示とタイムカウント表示に切り換わります(☞ 16ページ)。

横表示



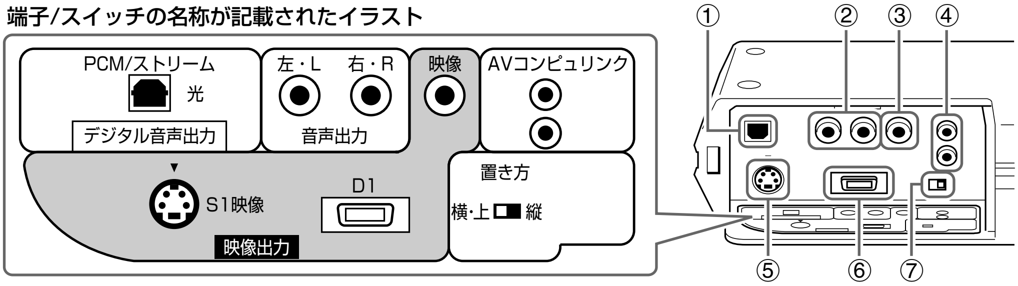
(表示例:トラック1·チャプター23をリジュームで再生中)



縦表示

本体背面

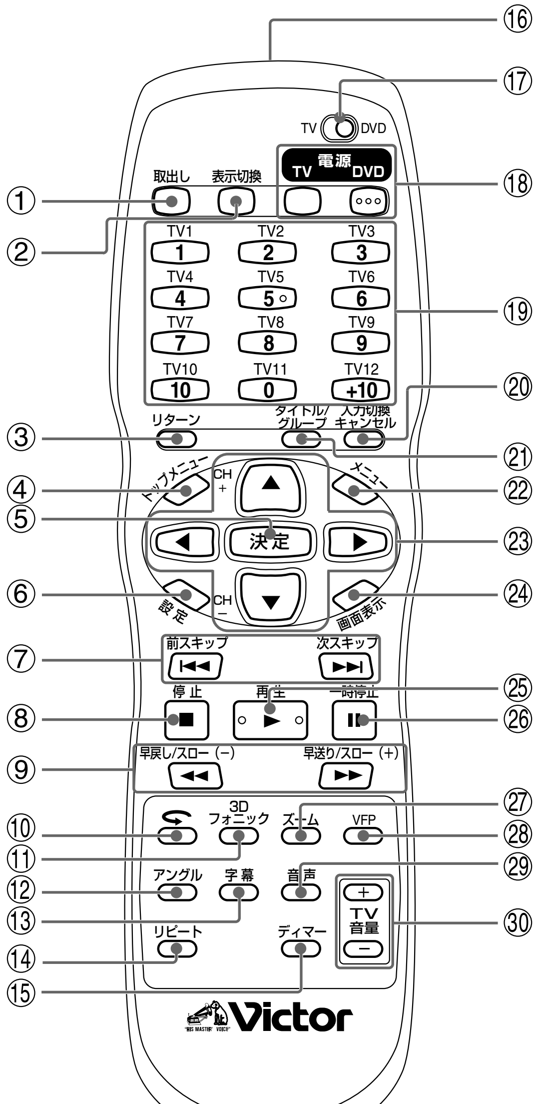
端子/スイッチの名称が記載されたイラスト



※これは底面を上にしたときのイラストです。

①デジタル音声出力(PCM/ストリーム)端子 11
②アナログ音声出力端子 10
③映像出力端子 10
④AVコンピュリンク端子 32
⑤S1映像出力端子 11
⑥D1端子 11
⑦置き方スイッチ 12

リモコン



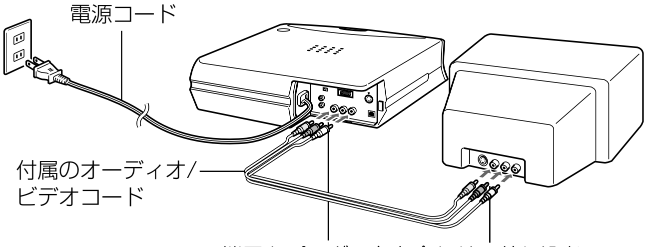
①取出しボタン 16
②表示切換ボタン .... 8、16
③リターンボタン 19
④トップメニューボタン 19
⑤決定ボタン 19
⑥設定ボタン 27
⑦|◀◀前スキップ／▶▶|次スキップボタン 17
⑧■停止ボタン 17
⑨◀◀早戻し／スロー(−)、▶▶早送り／スロー(＋)ボタン .... 16、17
⑩チョット見バックボタン 17
⑪3Dフォニックボタン 23
⑫アングルボタン 22
⑬字幕ボタン 22
⑭リピートボタン 21
⑮ディマーボタン 8
⑯リモコン信号送信部 16
⑰TV／DVD切換スイッチ 15
⑱TV電源ボタン 15
DVD電源ボタン 16
⑲数字ボタン .... 15、19
⑳入力切換/キャンセルボタン 15
㉑タイトル/グループボタン 19
㉒メニューボタン 19
㉓カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン .... 15、19
CH＋、CH－ボタン 15
㉔画面表示ボタン 19
㉕▶再生ボタン 16
㉖II一時停止ボタン 17
㉗ズームボタン .... 23、26
㉘VFPボタン 23
㉙音声ボタン 22
㉚TV音量(＋、－)ボタン 15

接続のしかた

ご注意▶

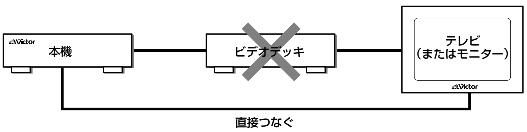
・接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
・すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
・各プラグはしっかりと差し込んでください。
・接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
・接続する前に設置のしかた(☞12ページ)を決め、置きかたに合わせて本体背面の「置き方」スイッチを設定してください。

テレビと接続する

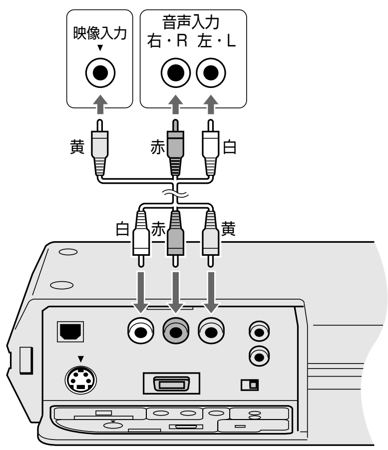


ご注意▶

• 本機とテレビ(またはモニター)は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。



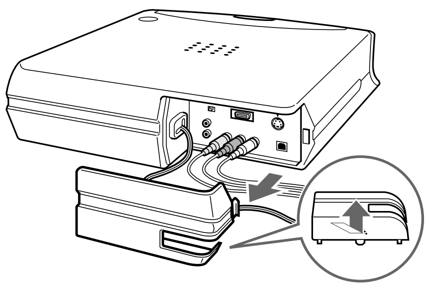
また本機とビデオデッキ内蔵テレビ(テレビデオ)をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。



※これは底面を上にしたときのイラストです。

おしらせ
• カバーの取り付けかたは、12ページをご覧ください。
• 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」(☞ 32ページ)をご覧ください。
• テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター(VZ-90)を使用してください。

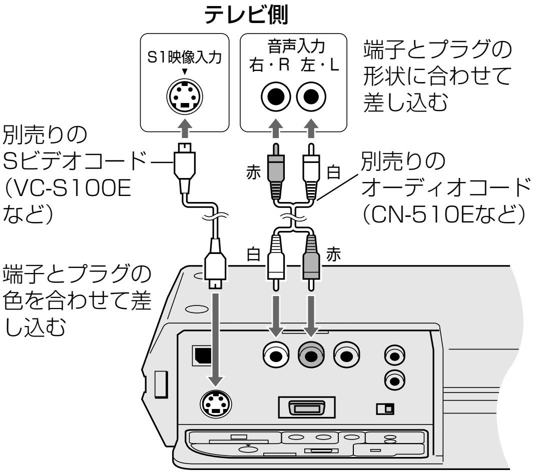
背面のカバーを外すときは



カバーのマークを少し押しながら手前に引く

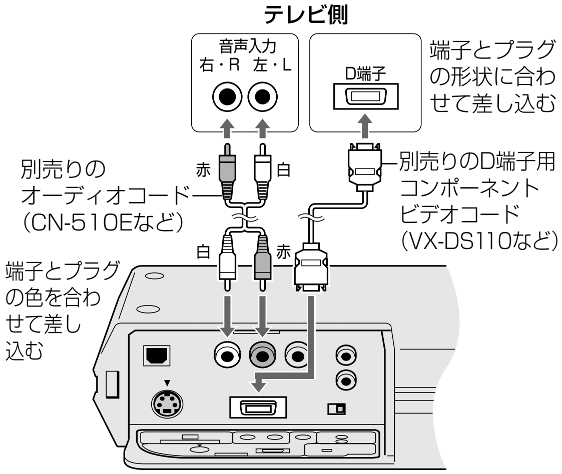
よりきれいな映像を楽しむときは

Sビデオコードで接続する



※これは底面を上にしたときのイラストです。

D端子用ビデオコードで接続する



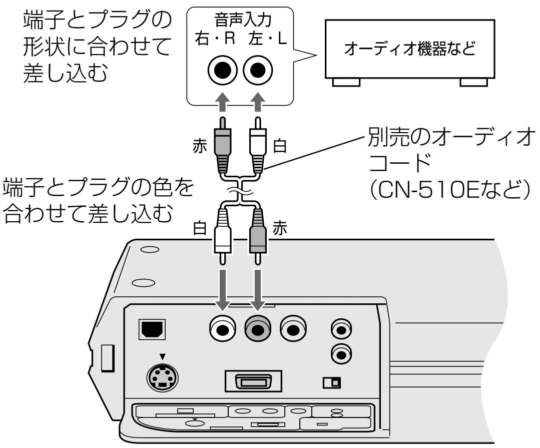
※これは底面を上にしたときのイラストです。

ご注意▶

- テレビのコンポーネント映像入力端子（RCAピン）と接続するときは、別売りのコード（VX-DS210など）をお使いください。
- 「S1映像端子またはD1端子でテレビに接続する時のご注意」
  本機のS1映像端子、またはD1端子は、どちらかご使用になる端子だけにケーブルを接続してください。
  両方に接続した場合、映像の色や明るさが正しく再生されません。

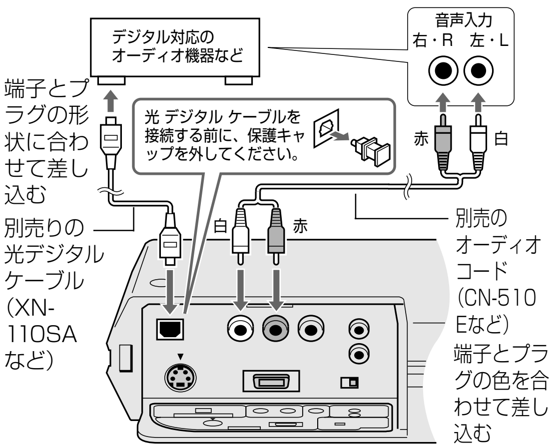
オーディオ機器と接続するときは

オーディオ機器と接続する



※これは底面を上にしたときのイラストです。

デジタル対応のオーディオ機器と接続する



※これは底面を上にしたときのイラストです。

ご注意▶

- デジタル音声出力端子どうしを接続するときは、アナログ音声端子を使った接続も行ってください。
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して、本機の「音声設定画面」の[アナログダウンミックス]と[Dレンジコントロール]の設定は無効となります。
- DTSの音声出力について
  - 本機では、DTSで記録されたDVDビデオやオーディオCDの音声はアナログ出力端子から出力されません。これらのディスクを正しく再生するには、DTSデコーダーを搭載した機器を本機のデジタル音声出力端子に接続する必要があります。
  - 本機のデジタル音声出力端子を、DTSデコーダーを搭載していない機器に接続しているときは、DTSのディスクを再生しないでください。大音量により、耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーが破損する恐れがあります。

設置のしかた

本機は、設置場所やスペースにあわせて、4通りの置きかたが選べます。安定した再生のため、置きかたに合わせて、本体背面の「置き方」スイッチを設定してください。

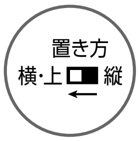
ご注意▶

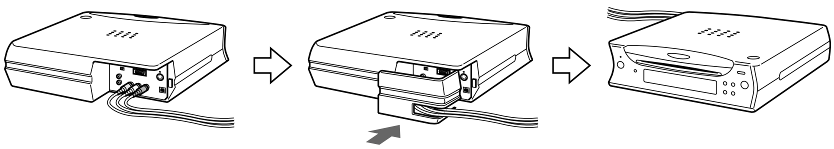
• 「置き方」スイッチの設定を変更するときは、あらかじめ電源を切ってください。電源が入ったまま設定を変更したときは、一度電源を切ってから入れ直すと設定が有効になります。
• 市販のコードをお使いの場合は、コードの太さや硬さ、プラグの大きさが、付属のコードと同等のものを使用してください。コードが太すぎたり、硬すぎたり、またプラグが大きすぎたりすると、カバーがきちんと閉まらない恐れがあります。

横置き（水平置き）

ご注意▶

この向きで設置するときは、必ず本体背面の「置き方」スイッチを「横・上」側にしてください。





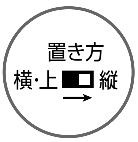
接続したコードをまとめて、本機の横に出す

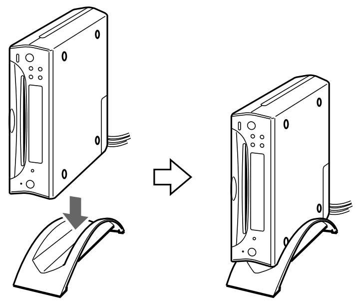
接続したコードを挟みこまないように、カバーを取り付ける

縦置き

ご注意▶

この向きで設置するときは、必ず本体背面の「置き方」スイッチを「縦」側にしてください。





必ず本体の溝（▼マーク）とスタンドの突起（▼マーク）を合わせて、コードを本体とスタンドではさまない様に取り付ける

おしらせ
• 電源を入れたあとリモコンの 表示切換 を2秒以上押すと、本体の表示窓を切り換えることもできます。

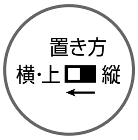
ご注意▶

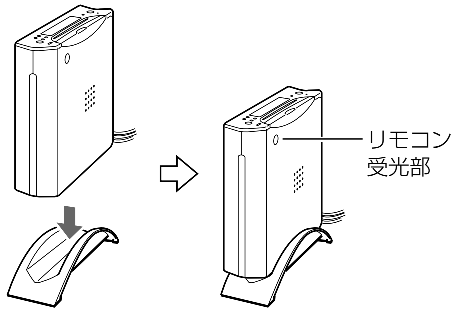
• マークを合わせずに逆向きに設置しないでください。本機がずれますのでご注意ください。
• 本機を移動するときは、本体を持ってください。スタンドを持つと、本体がはずれたりずれたりすることがありますのでご注意ください。
• スタンドを取り付けずに、本機を縦に置かないでください。本機が安定しないため、倒れることがあります。

上向き（垂直置き）

ご注意▶

この向きで設置するときは、必ず本体背面の「置き方」スイッチを「横・上」側にしてください。





必ず本体の溝（▼マーク）とスタンドの突起（▼マーク）を合わせて、コードを本体とスタンドではさまない様に取り付ける

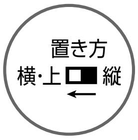
ご注意▶

- マークを合わせずに逆向きに設置しないでください。本機がずれますのでご注意ください。
- 本機を移動するときは、本体を持ってください。スタンドを持つと、本体がはずれたりずれたりすることがありますのでご注意ください。
- スタンドを取り付けずに、本機を上向きに置かないでください。本機が安定しないため、倒れることがあります。
- リモコン受光部を手前に向けて置いてください。リモコン受光部を壁に向けるなど、リモコンからの信号が受光できない向きに置くと、リモコンからの操作ができません。

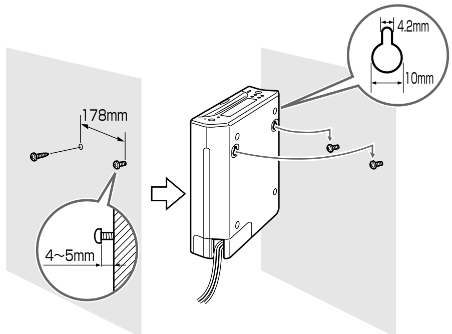
壁掛け

ご注意▶

この向きで設置するときは、必ず本体背面の「置き方」スイッチを「横・上」側にしてください。



市販のネジを壁の同じ高さに取り付ける



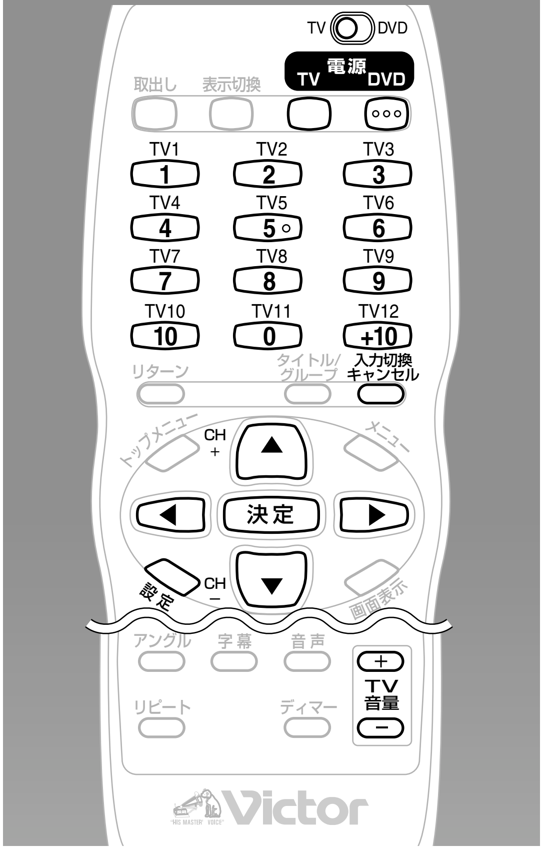
本体底面の壁掛け用穴に張ってあるシールをはがし、本機をネジにかけ、壁にぴったりと押し付ける
壁掛け用穴の上の狭い部分にネジが入ったことを確認する

178mm（壁かけ用取り付け寸法）

ご注意

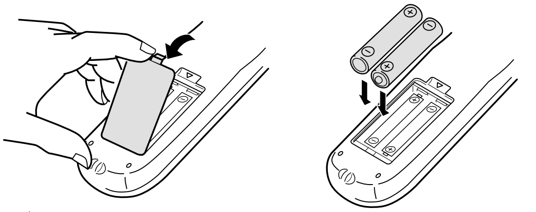
- 本体は重量が約1.7kgあります。操作ボタンを押すとき、下に向かってさらに力が加わります。壁に取り付けの際は、操作ボタンを押したときにも耐えられるような十分な強度を持った壁であることを確認してください。もしわからない場合は、工務店などの専門業者にご相談ください。
- 取り付け用ネジは添付されておりません。壁や柱の強度や材質に合わせた市販のネジをお使いください。
- けがや本体の破損の原因となりますので、日常生活で通行のじゃまになるところや頭や体の当たる可能性のあるところには取り付けないでください。
- ベッドやソファー、水槽、流しなどの上には取り付けないでください。また、壊れやすいものの上にも取り付けないでください。
- 本体にぶら下がったり、登ったりしないでください。けがや本体の破損の原因となります。特に小さいお子様には十分ご注意ください。
- 万一、本体が落下した場合は、電源コードを抜いて販売店に確認と修理の依頼をしてください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となります。

本機を使う準備をする



リモコンに電池を入れる

裏ブタを外し、⊕と⊖の向きをリモコン内部の表示に合わせ、乾電池(単3形)を2本入れる



ご注意▶

- 電池を入れたあとは、裏ブタを閉めてください。
- 付属の電池は動作確認用です。操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3乾電池と交換してください。

リモコンの操作範囲

リモコンの先端を本体に向けて操作します。操作可能な距離は本体のリモコン受光部より約5mです。

再生条件を設定する[簡単セットアップ]

ディスクを入れていない状態で、本機の電源をはじめて入れたときは、簡単セットアップを行うかどうかのメッセージが表示されます。

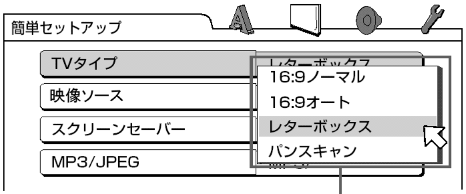
おしらせ 「簡単セットアップ」画面で設定できる内容は、初期設定画面でも設定することができます。(☞27ページ)

1 DVDを押す

本機の電源が入り、メッセージが表示されます。

2 決定を押す

簡単セットアップを行わないときは、入力切換キャンセルを押します。

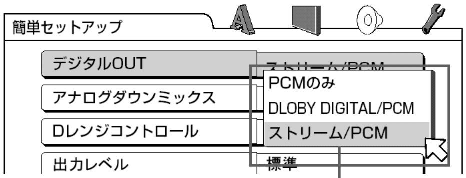


TVタイプの選択メニュー

3 ▲/▼を押してTVタイプを選ぶ

TVタイプについて詳しくは、27ページをご覧ください。

4 決定を押す



デジタルOUTの選択メニュー

5 デジタル音声出力端子を使って接続しているときは、▲/▼を押してデジタルOUTを選ぶ

- デジタル音声出力端子を使って接続していないときは、この設定をする必要はありません。このまま手順**6**へお進みください。
- デジタルOUTについて詳しくは、28ページをご覧ください。

6 決定を押す

オープニング画面(☞ 16ページ)が表示されます。

おしらせ
- 次のような状態のときに簡単セットアップを行うには、本機の電源を入れたあと、設定を2秒以上押してください。手順**2**の画面が表示されます。以降の操作は手順**3**からと同様です。
  - 本機の電源を入れるのが2回目以降のとき
  - ディスクが入った状態のとき

リモコンでテレビを操作する

ビクター製以外のテレビをお使いのかたは、以下の手順で本機のリモコン のメーカーを設定をすると、本機のリモコンでテレビの操作ができます。

おしらせ　ビクター製のテレビをお使いのかたは、電池を入れると本機のリモコンでテレビの操作ができます。

メーカー設定をする

1 TV/DVDをTV側にする

2 入力切換キャンセルを押し続ける

ご注意▶
入力切換キャンセルは、手順4が終わるまで押したままにしてください。

3 数字ボタンでコード番号を入力する

[メーカーのコード番号表]

お使いのテレビのメーカー名	コード番号（押すリモコンのボタン）
ビクター	TV11 0 ➜ TV1 1
松下1	TV11 0 ➜ TV2 2
松下2	TV11 0 ➜ TV3 3
三菱	TV11 0 ➜ TV4 4
ソニー	TV11 0 ➜ TV5 5
日立	TV11 0 ➜ TV6 6
東芝	TV11 0 ➜ TV7 7
サンヨー1	TV11 0 ➜ TV8 8
サンヨー2	TV11 0 ➜ TV9 9
シャープ	TV1 1 ➜ TV11 0
パイオニア	TV1 1 ➜ TV1 1
NEC	TV1 1 ➜ TV2 2
フナイ1	TV1 1 ➜ TV3 3
アイワ	TV1 1 ➜ TV4 4
フナイ2	TV1 1 ➜ TV5 5
フナイ3	TV1 1 ➜ TV6 6

複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。
順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

4 決定を押す

5 入力切換キャンセルを離す

テレビを操作する

1 TV/DVDをTV側にする

2 リモコンでテレビを操作する

テレビを操作できるボタンは、次のとおりです。

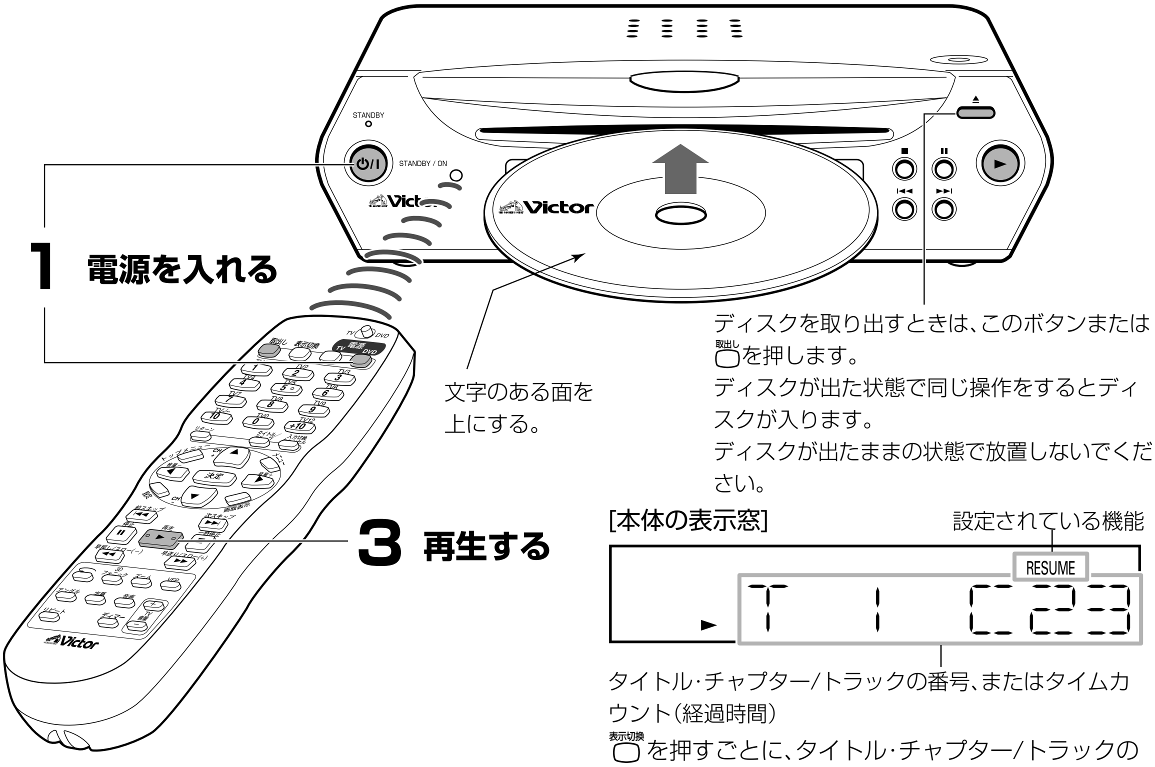
TV電源	テレビの電源を「入」/「切（スタンバイ）」する
CH＋ ▲ / CH－ ▼	テレビのチャンネルを変える
＋ TV音量 －	テレビの音量を調節する ※ TV音量（＋、－）ボタンは、TV/DVD切換スイッチがDVD側でも操作可能です。
TV1 1 〜 TV10 10 / TV11 0 / TV12 +10	テレビのチャンネルを選ぶ ※ 数字ボタンの上のTV1〜TV10、およびTV11、TV12がテレビのチャンネル番号です。
入力切換キャンセル	テレビとビデオ入力を切り換える

おしらせ
- 本機のリモコンでテレビを使えるように設定したときは、正常に操作が行われるかを確認してください。
- 本機を操作するときは、TV/DVD切換スイッチをDVD側（TV◎DVD）に戻してから操作してください。
- リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

ディスクを再生する

2 ディスクを入れる

8センチディスクはディスクスロットの中央から入れてください。



ディスクを取り出すときは、このボタンまたは取出しを押します。
ディスクが出た状態で同じ操作をするとディスクが入ります。
ディスクが出たままの状態で放置しないでください。

[本体の表示窓]　設定されている機能

タイトル·チャプター/トラックの番号、またはタイムカウント（経過時間）
表示切換を押すごとに、タイトル·チャプター/トラックの表示と、タイムカウント表示が切り換わります。
（ビデオCDとスーパービデオCDはPBCオフで再生時のみ）

1 DVD を押す

電源を入れると本体の動作ランプが点灯します。また、リモコンからの信号を受信すると点滅します。

2 ディスクを入れる

ディスクスロットにディスクを入れ、軽く押してください。自動で中に引き込まれます。
ディスクによっては自動的に再生が始まります。

3 再生 を押す

TV/DVD切換スイッチはDVD側（TV DVD）に合わせて操作してください。再生中は、動作ランプが一段暗くなります。

● 音声を聞きながら早送り再生する［1.5倍速早見再生］

再生中に 早送り/スロー（+） を1回押す（リモコンのみ）

- DVDビデオとビデオCDは、音声と字幕が出た状態で1.5倍速で再生されます。デジタル音声出力はリニアPCM2chになります。
- スーパービデオCDは音声が出ません。また、DVDビデオによっては音声が出ないものもあります（DTSディスクなど）。
- 通常再生に戻すときは 再生 を押します。

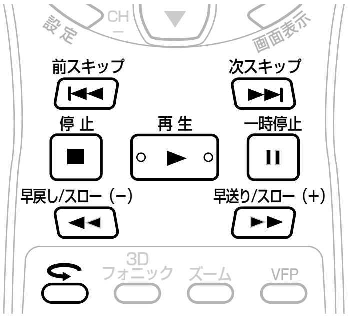
おしらせ
- ディスクによっては、音質や音程が変わる場合があります。
- 早戻し再生から、1.5倍速早見再生にする場合は、一度 再生 を押してから操作してください。



電源を入れたとき表示される画面（オープニング画面）

電源を入れると当社のロゴが入ったオープニング画面が表示されます。
状況に応じて以下のようなメッセージが表示されます。

NOW READING	ディスク読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョンコードエラー!	リージョンコードが異なるため再生できません。
NO DISC	ディスクが入っていません。



● 停止する

停止［■］を押す

● 一時停止する

一時停止［❚❚］を押す

- 再生を再開するときは 再生［○ ▶ ○］を押します。
  一時停止中は動作ランプが点滅します。

● 画像を1コマずつ送る

一時停止中に 一時停止［❚❚］を押す

- ボタンを押すごとに1コマずつ進みます。

● 早送り/早戻し再生する

再生中に 早送り/スロー (+)［▶▶］ または 早戻し/スロー (–)［◀◀］ を押す（リモコンのみ）

- 早送り/スロー (+)［▶▶］を押すと順方向、早戻し/スロー (–)［◀◀］を押すと逆方向に再生されます。
- ボタンを押すごとにスピードが速くなります（順方向1.5倍速早見再生（☞ 16ページ）〜60倍速、逆方向1.5〜60倍速）。
- 次スキップ［▶▶❚］または前スキップ［❚◀◀］を押したままにしても、早送り/早戻し再生できます（順/逆方向とも5倍速）。
- 通常再生に戻すときは 再生［○ ▶ ○］を押します。

おしらせ
DVDビデオやビデオCDを早送り/早戻し再生しているとき、音声は出ません。
オーディオCDを早送り/早戻し再生しているときは、断続的に音声が出ます。

● 10秒前から再生し直す [チョット見バック]

再生中に［チョット見バック］を押す

おしらせ
- DVDビデオの再生中に操作できます。なお、ディスクによってはこの操作ができないこともあります。
- この機能で一つ前のタイトルに戻ることはできません。

● スローモーション再生する [スロー]

一時停止中に 早送り/スロー (+)［▶▶］ または 早戻し/スロー (–)［◀◀］ を押す

- 早送り/スロー (+)［▶▶］を押すと順方向、早戻し/スロー (–)［◀◀］を押すと逆方向に再生されます。
- ボタンを押すごとにスピードが速くなります（1/32〜1/2倍速）。

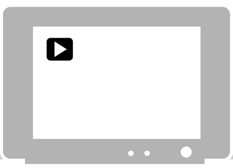
おしらせ
- 音声は再生されません。
- ビデオCDでは、逆方向のスロー再生ができません。

● 頭出しする

次スキップ［▶▶❚］または 前スキップ［❚◀◀］を押す

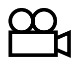
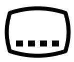
- 前後のチャプター（DVD）またはトラック（CD）の頭にスキップできます。
- ボタンを押すごとに、前または次のチャプター/トラックに進みます。
- 再生中のチャプター/トラックの先頭に戻るときは 前スキップ［❚◀◀］を1回だけ押します。

おしらせ
- DVDビデオは再生中、ビデオCDは停止中またはPBCオフ（☞ 39ページ）で再生中、オーディオCDはいつでも操作できます。
- ディスクによってはこの操作ができないこともあります。



テレビ画面に表示されるマーク（オンスクリーンガイド）

状況に応じてテレビ画面に数秒間表示されるマークをオンスクリーンガイド（☞ 28ページ）と呼びます。

- ▶ ：再生
- ❚❚ ：一時停止
- ◀◀ ▶▶ ：早戻し/早送り
- ◀❚ ❚▶ ：スロー再生（逆方向/順方向）
-  ：複数のアングルあり
-  ：複数の音声あり
-  ：複数の字幕あり
-  ：禁止または非対応操作

再生を停止したシーンから再び再生する［リジューム］ DVDビデオ ビデオCD SVCD



再生を途中で停止したとき、そのシーンから再び再生することができます。
これをリジューム機能と呼びます。本機には2種類のリジューム機能があります。

通常のリジューム:
本機にセットされているディスクの停止位置が記憶されます。ディスクを取り出すと記憶が消えます。

ディスクリジューム:
最大30枚のディスクの停止位置が記憶されます。ディスクを取り出しても記憶は消えません。

リジューム機能の種類（リジュームモード）は初期設定で変更することができます（☞ 28ページ）。お買い上げ時は「通常のリジューム」が設定されています。
リジュームモードを使わないように設定することもできます。

おしらせ
- ディスクリジュームが働かないディスクもあります。
- プログラム再生やランダム再生ではリジューム機能が働きません。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と若干異なることがあります。
- ディスクのメニューが表示されているときは、リジューム機能が働かないことがあります。
- 両面タイプのDVDビデオは表面裏面それぞれの停止位置が記憶されます。
- ディスクリジュームで記憶した停止位置は、リジュームモードを変更すると無効になります。
- 停止位置とともに、そのときの音声言語、字幕言語、アングルが記憶されます。

停止したシーンを記憶させる

おしらせ　リジュームモードでディスクを再生中に操作できます。

1 停止■を押す
- 停止■を押すごとに新しい停止位置が記憶されます。
- 本体の表示窓に「RESUME」が点灯します。

停止したシーンから再生する

ディスクリジュームモードのときは再生するディスクを入れます。

1 再生►を押す

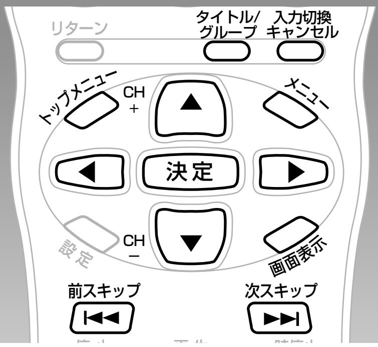
停止したシーンの記憶を取り消す

ディスクリジュームモードのときは再生するディスクを入れます。

1 停止中に停止■を押す
- 次に再生►を押すとディスクの最初から再生が始まります。
- 本体の表示窓の「RESUME」が消灯します。

再生するところを選ぶ

DVDビデオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD



ディスクのメニューから再生するところを選ぶ

ディスクにメニュー画面が収録されているときは、メニュー画面から再生するところを選ぶことができます。

おしらせ
- 一般的なDVDビデオやPBC対応のビデオCDには、メニュー画面が収録されています。
- ディスクによって収録されているメニュー画面の構成が異なります。トップメニューやメニューを押して表示されるメニューについては、ディスクの説明書をご覧ください。
- PBC対応のビデオCDは停止中に操作できます。

1　トップメニューまたはメニューを押す

ディスクのメニュー画面が表示されます。

2　▲▼◀▶、または数字ボタンを押してメニューから再生するところを選ぶ

例:　5: 5
　23: +10→+10→3
　30: +10→+10→10

- メニュー画面に複数のページが用意されているときは、次スキップ または 前スキップ を押してページを切り換えます。

3　決定を押す

おしらせ
- ディスクによっては決定を押さなくても再生が始まります。
- ビデオCDを再生中、メニューに戻るときはリターンを押します。

数字ボタンで再生するところを選ぶ

数字ボタンを押して、再生するタイトル/チャプター/トラック番号を指定できます。

おしらせ
- DVDビデオは、停止中にチャプターを指定できません。
- ビデオCDは停止中またはPBCオフで再生中に操作できます。
- ディスクによってはこの操作ができないこともあります。

1　数字ボタンを押してチャプター/トラック番号を指定する

例:　5: 5
　23: +10→+10→3
　30: +10→+10→10

- DVDビデオのタイトルを選ぶときは操作の前に、タイトル/グループを押します。

経過時間を指定して再生する[タイムサーチ]

DVDビデオではタイトルの先頭から、オーディオCDとビデオCDはディスクの先頭から、経過時間を指定して、希望の位置から再生できます。これをタイムサーチ機能と呼びます。

おしらせ
- DVDビデオは再生中、ビデオCDは停止中またはPBCオフで再生中、オーディオCDはいつでも操作できます。
- 時間情報が記録されていないDVDビデオでは、この機能は働きません。
- プログラム再生中はこの機能は働きません。

1　画面表示を2回押す

メニューバー(☞ 24ページ)が表示されます。

2　◀▶を押して⏲➜を選ぶ

3　決定を押す

4　数字ボタン(1〜9、0)を押して時間を入力する

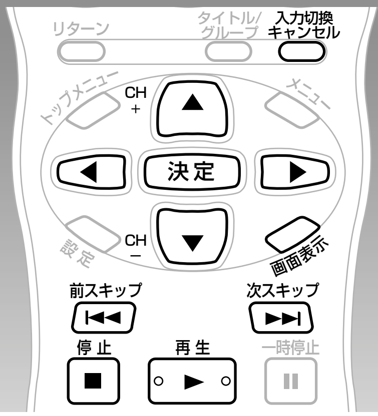
- DVDビデオでは「時・分・秒」、オーディオCDやビデオCDでは「分・秒」を入力します。なお「秒」は省略できます。
- この機能では10と+10が使えません。
- 間違えたときは◀を押して数字を消去し、入力し直します。

5　決定を押す

メニューバーを消すときは画面表示を押します。

順番を変えて再生する

ビデオCD SVCD オーディオCD



オーディオCDやビデオCDに収録されたトラックの再生順を指定できます。またランダム（無作為）な順番で再生することもできます。

順番を決めて再生する[プログラム再生]

最大99トラックの再生順を指定できます。同じトラックを複数回指定することもできます。

おしらせ　停止中に操作できます。

1　[画面表示]を2回押す

メニューバー（☞ 24ページ）が表示されます。

2　[◀][▶]を押して PROG. を選ぶ

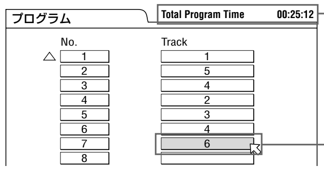
3　[決定]を押す

プログラム設定画面が表示され、本体の表示窓に「PROG」が点灯します。

4　数字ボタンを押して、再生する順にトラック番号を入力する

例： 5：[5]
23：[+10]→[+10]→[3]
30：[+10]→[+10]→[10]

選択例



- 間違えたときは[▲][▼]を押してトラック番号を選び、[入力切換 キャンセル]を押します。また、設定中に[停止]を押すとすべてのプログラムが消去されます。

5　[再生]を押す

- プログラム再生が始まります。ビデオCDの再生中はプログラム設定画面が消えます。
- [前スキップ][次スキップ]を押して、プログラム順に頭出しができます。
- 停止するときは[停止]を押します。プログラムは残ります。停止した状態でもう一度[停止]を押すと、プログラムが消去されます。
- プログラムを消去したあと[画面表示]を押すと、プログラム再生モードが解除されます。

無作為な順番で再生する[ランダム再生]

おしらせ　停止中に操作できます。

1　[画面表示]を2回押す

メニューバー（☞ 24ページ）が表示されます。

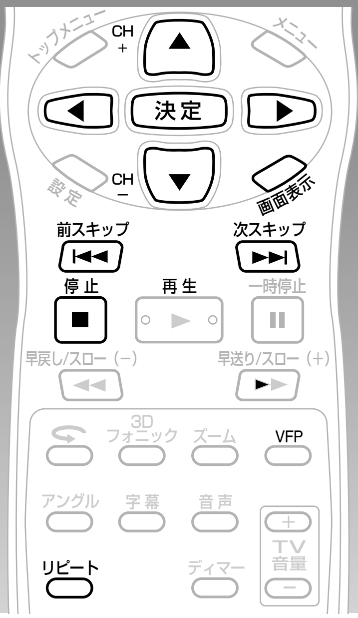
2　[◀][▶]を押して RND. を選ぶ

3　[決定]を押す

- 本体の表示窓に「RND」が表示され、ランダム再生が始まります。すべてのトラックの再生が終了するとランダム再生モードが解除されます。
- 停止するときは[停止]を押します。停止するとランダム再生モードが解除されます。
- ランダム再生中に手順**1**～**3**の操作をすると、ランダム再生モードが解除され、現在再生中のトラックから通常の順序で再生されます。
- 一度再生されたトラックは再生されません。

くり返し再生する

DVDビデオ　ビデオCD　SVCD　オーディオCD



DVDビデオのチャプターやタイトル、オーディオCDやビデオCDのトラックや全トラックを、くり返し再生することができます(リピート機能)。また、ある範囲を指定してくり返し再生することもできます(A-Bリピート機能)。

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]

おしらせ
- DVDビデオは再生中、ビデオCDは停止中またはPBCオフで再生中、オーディオCDはいつでも操作できます。
- メニューバーでリピートを設定することもできます。詳しくは「指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]」をご覧ください。

リピート を押す

リピート を押すごとにリピートの種類が切り換わります。

テレビ画面の表示　　本体の表示窓

↻CHAP　　↻

└ リピートの種類 ┘

DVDビデオのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のチャプターをリピート	CHAP.	↻1
現在のタイトルをリピート	TITLE	↻
リピートを解除	OFF	表示なし

オーディオCD/ビデオCDのとき

リピートの種類	テレビ画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	TRACK	↻1
全トラックをリピート	ALL	↻
リピートを解除	OFF	表示なし

- 前スキップ 次スキップ を押すと頭出しができます。全トラックリピート以外のときは、移動先のタイトル/チャプター/トラックがくり返し再生されます。
- 停止するときは 停止 を押します。DVDビデオのときは同時にリピートが解除されます。オーディオCD/ビデオCDは解除されません。
- プログラム再生中に全トラックリピートを選ぶと、プログラムしたトラック全体がリピートされます。

指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]

おしらせ
- 再生中に操作できます。
- タイトルやトラックにまたがるA-Bリピートはできません。また、プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-Bリピートができません。

1 画面表示 を2回押す

メニューバー(☞ 24ページ)が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して ↻OFF を選ぶ

3 決定 を押す

4 ▲ ▼ を押して A-B を選ぶ

ここで他のリピートモードを選ぶこともできます。他のリピートモードについては、「タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返し再生する[リピート]」をご覧ください。

5 くり返す範囲の始点で 決定 を押す
(Aポイントの指定)

メニューバーのアイコンが ↻A- になり、本体の表示窓に ↻ が表示されます。

6 くり返す範囲の終点で 決定 を押す
(Bポイントの指定)

- メニューバーのアイコンが ↻A-B になり、A-Bポイント間がリピート再生されます。
- メニューバーを消すときは 画面表示 を押します。
- 停止するときは 停止 を押します。同時にリピートが解除されます。

字幕/音声やカメラアングルを切り換える DVDビデオ ビデオCD SVCD



複数の字幕/音声/アングルが収録されているDVDビデオや、複数のオーディオチャンネルが収録されているビデオCDでは、それらを切り換えることができます。

字幕を切り換える

おしらせ
- 再生中に操作できます。
- メニューバー(☞ 24ページ)で操作することもできます。

1 字幕を押す

- テレビ画面に字幕の設定項目が表示されます。字幕を押すごとに字幕の言語が切り換わります。
- 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は、言語コード(☞ 29ページ)で表示されます。

2 字幕の言語を選んで決定を押す

字幕選択表示が消え、選んだ言語で、字幕が表示されます。

音声を切り換える

おしらせ
- 再生中に操作できます。
- メニューバー(☞ 24ページ)で操作することもできます。

1 音声を押す

- テレビ画面に音声の設定項目が表示されます。音声を押すごとに音声の種類が切り換わります。
- DVDビデオのときは収録された音声言語が表示されます。英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は、言語コード(☞ 29ページ)で表示されます。
- ビデオCDではオーディオチャンネルが表示されます。ST(ステレオ)、L(左の音声)、R(右の音声)が選べます。

2 音声の種類を選んで決定を押す

音声選択表示が消え、選んだ音声で再生されます。

アングルを切り換える

おしらせ
- 再生中に操作できます。
- メニューバー(☞ 24ページ)で操作することもできます。

1 アングルを押す

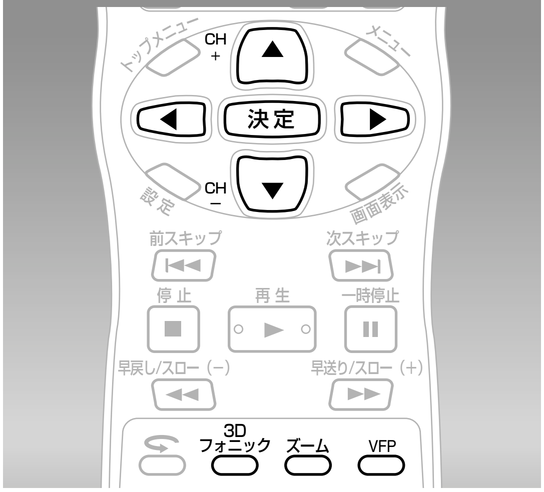
- テレビ画面にアングルの設定項目が表示されます。アングルを押すごとにアングルが切り換わります。
- アングル選択中は音声がとぎれます。

2 決定を押す

アングル選択表示が消え、選んだアングルで再生されます。

画像や音声にアレンジを加える

DVDビデオ　ビデオCD　SVCD



画面を拡大する[ズーム]

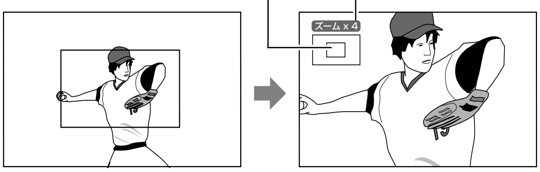
おしらせ　再生中、一時停止中に操作できます。

1 ズーム を押す

押すごとに次の倍率で拡大されます。
（1.8➡4➡8➡16➡32➡64倍）

おしらせ　レターボックスサイズのソフト（横長の映像）を通常のテレビで楽しむとき、1.8倍に拡大すると上下の黒帯がなくなります（ソフトによっては完全になくならないこともあります）。なお、このとき左右の映像は切り取られます。

拡大前の画像　　拡大後の画像



2 ▲▼◀▶を押して拡大する部分を選ぶ

ズームを解除するときは、決定を押します。

画質を調節する[VFP]

環境に合わせて画質を調節できます。明るさやコントラストなどを細かく設定することもできます。

おしらせ　再生中に操作できます。

1 VFP を押す

- テレビ画面にVFPモードと設定項目の一覧が表示されます。

2 ◀▶を押してVFPモードを選ぶ

- 通常の状態では「ノーマル」、照明を落とした部屋では「シネマ」がお勧めです。「ユーザー1」と「ユーザー2」を選ぶと手順**3**以降の操作で細かい設定ができます。

3 ▲▼を押して設定する項目を選ぶ

ガンマ	暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに中間の明るさを調節する。	設定範囲：+4〜−4
明るさ	明るさを調節する。	設定範囲：+16〜−16
コントラスト	コントラストを調節する。	設定範囲：+16〜−16
色のこさ	色の濃さを調節する。	設定範囲：+16〜−16
色合い	色合いを調節する。	設定範囲：+16〜−16
シャープネス	シャープさを調節する。	設定範囲：+3〜0
Yディレイ	色ズレを調節する。	設定範囲：+2〜−2

4 決定 を押す

選択した設定項目のみが表示されます。

5 ▲▼を押して設定項目の数値を変更する

6 決定 を押す

VFPモードと設定項目の一覧が再表示されます。
表示を消すときはVFPを押します。

サラウンド感を出す[3Dフォニック]

2本のスピーカーで擬似的なサラウンド効果を得ることができます。

おしらせ
- 再生中に操作できます。
- ドルビーデジタルのリアの音声成分が収録されていないディスクでは、正しい効果が得られません。また、デジタル音声出力端子から出力される信号には効果がかかりません。

1 3Dフォニック を押す

- テレビ画面に3Dフォニックの設定項目が表示されます。

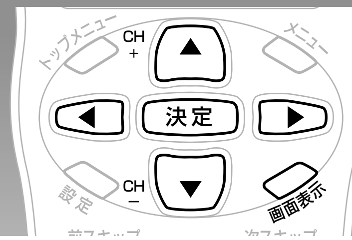
2 ◀▶を押して3Dフォニックの種類を選ぶ

アクション	アクション映画など音が激しく動く作品に適している。
ドラマ	音に包まれる自然な雰囲気が得られる。
シアター	映画館のような音響効果が得られる。
オフ	3Dフォニックを解除する。

3 ▲▼を押して効果のレベルを調節する

- 3Dフォニックが設定されているときは、本体の表示窓に「3D」が点灯します。

メニューバーで操作する DVD ビデオ / ビデオ CD / SVCD / オーディオ CD



メニューバーで操作する機能について説明します。

おしらせ　ディスクが入っているときに操作できます。
なお、再生中には操作できない機能もあります。

1 [画面表示]を押す

ディスクの情報と状態を示すステータスバー（☞ このページ右側）が表示されます。

2 [画面表示]を押す

メニューバーが表示されます。



上記はDVDビデオのメニューバーです。
メニューバーはディスクの種類によって異なります。

3 [◀][▶]を押してアイコンを選ぶ

4 [決定]を押す

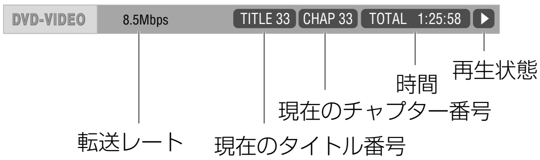
- 各機能が設定できるようになります。設定内容については次の「機能一覧」をご覧ください。
- メニューバーのアイコンの文字やマークが青いときは、その機能が働いています。
- メニューバーを消すときは[画面表示]を押します。

機能一覧

TIME 時間表示選択	本体の表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。[決定]を押すごとにモードが切り換わる。 **DVDビデオ（再生中に操作）** TOTAL：タイトルの経過時間 T.REM：タイトルの残り時間 TIME：チャプターの経過時間 REM：チャプターの残り時間 **オーディオCD/ビデオCD** TIME：トラックの経過時間 REM：トラックの残り時間（停止中はトラックの収録時間） TOTAL：ディスクの先頭からの経過時間 T.REM：ディスクの残り時間（停止中はディスクの収録時間）
[リピートアイコン] リピートモード	リピートモードの選択。[▲][▼]を押してリピートモードを選択し、[決定]を押す（詳しくは21ページ参照）。
[タイムサーチアイコン] タイムサーチ	タイトル（DVD）またはディスク（CD）の先頭からの時間を指定して再生。数字ボタンを使って時刻を入力し、[決定]を押す（詳しくは19ページ参照）。
CHAP. チャプターサーチ（DVD）	チャプターを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター番号を入力し、[決定]を押す。
PROG. プログラム（オーディオ/ビデオCD）	トラックの再生順序を決める（停止中に操作）。数字ボタンを押してトラック番号を順次入力し、[決定]を押す（詳しくは20ページ参照）。
RND. ランダム（オーディオ/ビデオCD）	無作為な順序で再生する（停止中に操作）。[決定]を押す（詳しくは20ページ参照）。
[音声アイコン] 音声言語/音声（DVD/ビデオCD）	音声言語/音声を選ぶ（再生中に操作）。[▲][▼]を押して音声言語/音声を選択し、[決定]を押す（詳しくは22ページ参照）。
[字幕アイコン] 字幕言語（DVD）	字幕言語を選ぶ（再生中に操作）。[▲][▼]を押して字幕言語を選択し、[決定]を押す（詳しくは22ページ参照）。
[アングルアイコン] 1/3 アングル（DVD）	アングルを選ぶ（再生中に操作）。[▲][▼]を押してアングルを選択し、[決定]を押す（詳しくは22ページ参照）。

ステータスバーに表示される情報

DVDビデオ



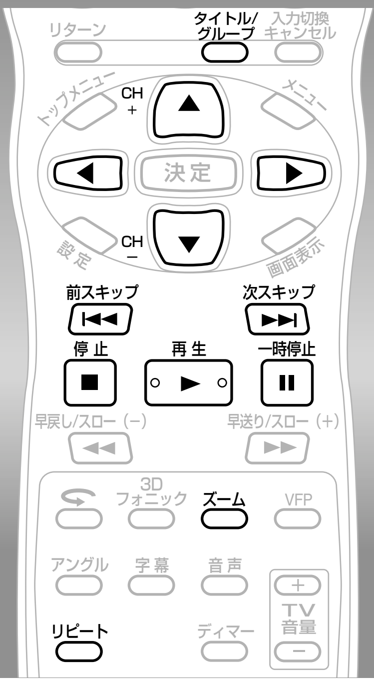
ビデオCD/オーディオCD（下はオーディオCDの例）



おしらせ　再生状態に表示されるマーク（再生/一時停止/早送り早戻し/スロー再生（順/逆））は、オンスクリーンガイド（☞ 17ページ）のマークと同じ意味です。

MP3ディスクやJPEGディスクを再生する

MP3 JPEG

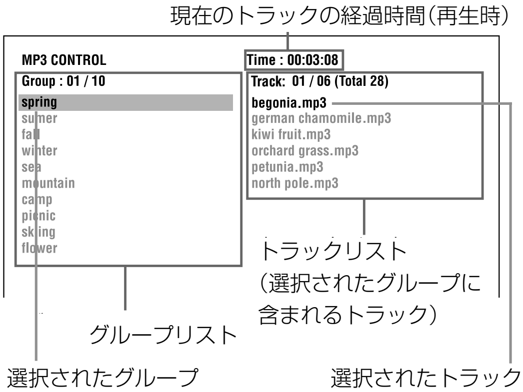


MP3ディスクを再生する

1 MP3ディスクを入れる

MP3コントロール画面が表示されます。

MP3コントロール画面



2 [▲][▼]を押してグループを選ぶ

3 [▶]を押す

[◀]を押すとグループリストに戻ります。

4 [▲][▼]を押してトラックを選ぶ

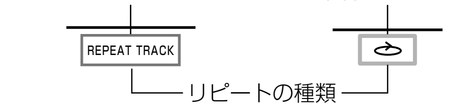
5 [再生 ▶]を押す

- 停止するときは[停止 ■]を押します。
- [次スキップ ▶▶|]または[前スキップ |◀◀]を押すと前後のトラックの頭にスキップできます。再生中のトラックの先頭に戻るときは[前スキップ |◀◀]を1回だけ押します。
- [一時停止 ❙❙]を押すと一時停止します。[再生 ▶]を押すと再生を再開します。
- 早送り/早戻しはできません。

リピート（くり返し）再生する

[リピート]を押す

[リピート]を押すごとにリピートの種類が切り換わります。



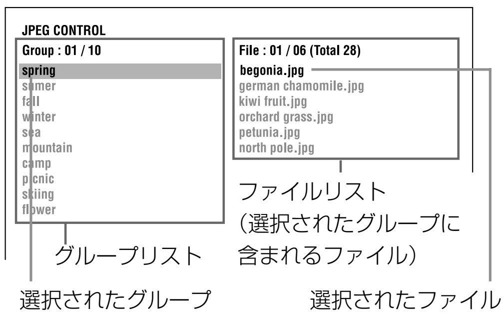
リピートの種類	MP3コントロール画面の表示	本体表示窓の表示
現在のトラックをリピート	REPEAT TRACK	⟳1
現在のグループをリピート	REPEAT GROUP	⟳
ディスク全体をリピート	REPEAT ALL	⟳
リピートを解除	表示なし	表示なし

JPEGディスクを再生する

1 JPEGディスクを入れる

JPEGコントロール画面が表示されます。

JPEGコントロール画面



2 [▲][▼]を押してグループを選ぶ

3 [▶]を押す

[◀]を押すとグループリストに戻ります。

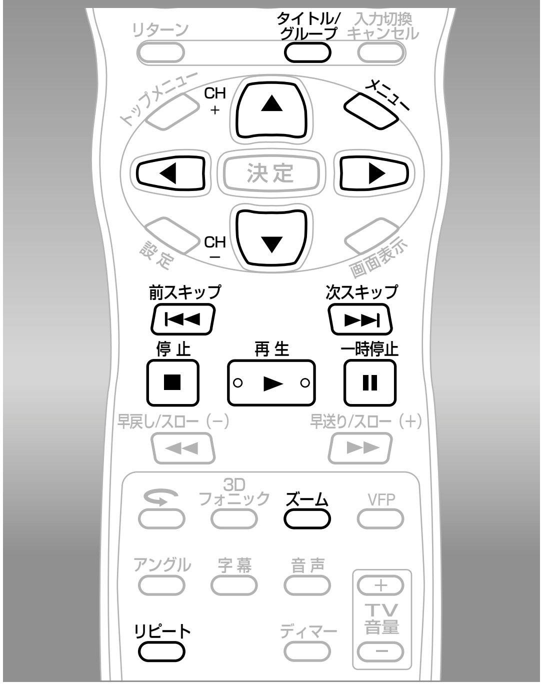
4 [▲][▼]を押してファイルを選ぶ

5 [決定]を押す

- 選んだファイルのみ再生されます。
- 再生を終了するときは[停止 ■]を押します。
- [次スキップ ▶▶|]を押すと次の、[前スキップ |◀◀]を押すと一つ前のファイルが再生されます。

つづき MP3ディスクやJPEGディスクを再生する

MP3 JPEG



スライドショー再生する

ファイルを自動的に連続して再生します。1ファイルの再生時間は約3秒です。

1 「JPEGディスクを再生する」の手順1〜4で、最初に再生するファイルを選ぶ

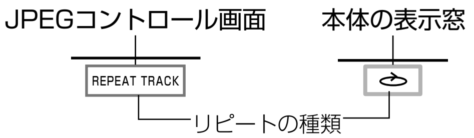
2 [再生]を押す

- 選んだファイルから連続して再生されます。
- ファイルの再生が一巡すると停止状態になります。
- 再生を停止するときは[停止]または[メニュー]を押します。
- [次スキップ]を押すと次の、[前スキップ]を押すと一つ前のファイルが再生されます。
- [一時停止]を押すと一時停止します。[再生]を押すと次のファイルから再生を開始します。

スライドショーをくり返し再生する[リピート]

[リピート]を押す

[リピート]を押すごとにリピートの種類が切り換わります。



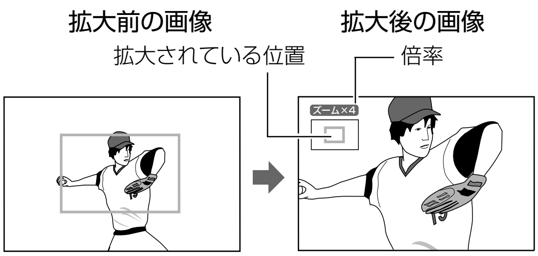
リピートの種類	JPEGコントロール画面の表示	本体表示窓の表示
現在のグループをリピート	REPEAT GROUP	
ディスク全体をリピート	REPEAT ALL	
リピートを解除	表示なし	表示なし

ファイルを拡大する[ズーム]

おしらせ 再生中、およびスライドショー再生の一時停止中に操作できます。

1 [ズーム]を押す

押すごとに次の倍率で拡大されます。
(1.8➡4➡8➡16➡32➡64倍)



2 [▲][▼][◀][▶]を押して拡大する部分を選ぶ

- [決定]を押すとズームが解除されます。

数字ボタンで再生するトラック/ファイルを選ぶ

ディスクに収録されたグループとトラック/ファイルの順序(番号)を数字ボタンで直接指定して再生することができます。

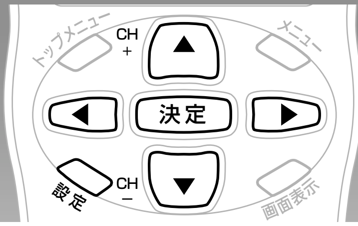
1 [タイトル/グループ]を押す

2 数字ボタンを押してグループの番号を指定する

例: 5: [5]
23: [+10]→[+10]→[3]
30: [+10]→[+10]→[10]

3 数字ボタンを押してトラック/ファイルの番号を指定する

初期設定を変更する



初期設定とは、お買い上げ時の本機の設定のことです。お使いの環境に合わせて設定を変更することができます。

おしらせ
- MP3/JPEGディスクがセットされているときは初期設定を変更できません。
- ワイドテレビでは初期設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

ここでは初期設定を変更する基本操作について説明します。

1 （設定）を押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀または▶を押して設定画面のアイコンを選ぶ

選んだアイコンに応じて、4種類の設定画面が表示されます。設定内容について詳しくは各画面の参照先をご覧ください。

- 言語設定画面（☞ このページ）
- 映像設定画面（☞ このページ）
- 音声設定画面（☞ 28ページ）
- その他設定画面（☞ 28ページ）

3 ▲または▼を押して設定する項目を選ぶ

4 （決定）を押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

5 ▲または▼を押して設定内容を選ぶ

6 （決定）を押す

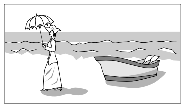
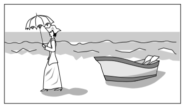
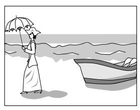
- 設定が完了します。
- 初期設定画面を消すときは（設定）を押します。

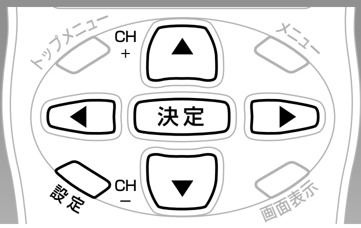
言語設定画面

おしらせ
- 再生中は「画面表示言語」以外の操作ができません。
- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、そのディスクの標準設定の言語で表示されます。

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
メニュー言語	**DVDビデオのメニューの言語を次から選ぶ。** 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード（☞29ページ）
音声言語	**DVDビデオの音声の言語を次から選ぶ。** 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード（☞29ページ）
字幕言語	**DVDビデオの字幕の言語を次から選ぶ。** オフ（非表示）、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語、AAからZUまでの言語コード（☞29ページ）
画面表示言語	**設定画面などの言語を次から選ぶ。** 日本語、英語

映像設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
TVタイプ	**テレビに適した表示方法を次から選ぶ。** **16:9ノーマル:** 画面サイズが16:9に固定されたワイドテレビ用。4:3の映像は自動調整。  **16:9オート:** 普通のワイドテレビ用。  **レターボックス:** 通常のテレビ用。横長の映像は上下に黒い隙間が表示される。  **パンスキャン:** 通常のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られる（ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となる）。 



設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
映像ソース	映像ソースに適した設定を選ぶ。 **ビデオ（ノーマル）:** 動きの少ないビデオ素材の映像に適している。 **ビデオ（アクティブ）:** 動きの激しいビデオ素材の映像に適している。 **フィルム：** フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適している。 **オート：** 素材のタイプ（ビデオ / フィルム）を自動判別。ビデオ素材とフィルム素材が混在した映像に適している。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバー（☞39 ページ）の オン / オフを選ぶ。（スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約５分操作がないときに動作）
MP3/JPEG	１枚のディスクに MP3 と JPEG の両ファイルが含まれているとき、どちらを再生するか選ぶ。MP3 または JPEG のいずれか一方のみが記録されたディスクはこの設定に関わらず再生できる。

音声設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
デジタルOUT	デジタル音声出力端子に接続する機器（AVアンプなど）に合わせて出力信号の種類を次から選ぶ（設定項目と出力信号については29ページの一覧表をご覧ください）。 **PCMのみ:** リニアPCMのみに対応している機器。 **DOLBY DIGITAL/PCM:** ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 **ストリーム/PCM：** DTS/ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
アナログダウンミックス	サラウンドオーディオで収録されたDVDビデオの音声を正しく再生するために、接続するアナログ機器（AVアンプなど）に合わせて選ぶ。 **ドルビーサラウンド:** ドルビーサラウンドに対応している機器。 **ステレオ：** 通常の機器。
Dレンジコントロール	小音量で再生するときのダイナミックレンジの圧縮方法を次から選ぶ。（ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオのみ） **ワイドレンジ:** ドルビーデジタル1chおよび2ch収録のディスク以外は常に圧縮。 **ノーマル：** 通常はこの設定にします。 **TVモード:** 小さい音まで聞こえるようにする。
出力レベル	Dレンジコントロールで「TVモード」を選択したときの音声出力（アナログ）レベルを選ぶ。 **標準：** 通常はこの設定にします。 **小:** 音声がひずむとき。

ご注意▶

本機のデジタル音声出力端子を、DTSデコーダーを搭載していない機器に接続しているときは、DTSのディスクを再生しないでください。大音量により、耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損する恐れがあります。
DTSディスクを再生するときは、DTSデコーダーを搭載した機器に接続してください。

その他設定画面

設定項目	設定内容（　　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	ディスクの停止位置を記憶するリジューム機能（☞18ページ）を次から選ぶ。 **オン：** リジューム機能を使う。 **オフ:** リジューム機能を使わない。 **ディスクリジューム:** 最大30枚のディスクの停止位置が記憶されるディスクリジュームを使う。
オンスクリーンガイド	ディスクや本機の状態を示すマークを表示するオンスクリーンガイドの オン /オフを選ぶ（マークについては17ページをご覧ください）。
オートスタンバイ	一定時間・停止状態が続いたとき自動的に電源を切にするかどうかを次から選ぶ。 **60:** 60分後に電源が切れる。 **30:** 30分後に電源が切れる。 **オフ：** オートスタンバイを使わない。
AVコンピュリンクモード	弊社のテレビやAVアンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選ぶ（詳しくは「AVコンピュリンクの活用」（☞32ページ）をご覧ください）。 **DVD1:** テレビのビデオ3入力またはAVアンプのDVD入力に接続。 **DVD2:** テレビのビデオ1入力に接続。 **DVD3:** テレビのビデオ2入力に接続。
パレンタルロック	視聴制限を設定する（設定手順については「視聴制限を設定する」（☞30ページ）をご覧ください。

言語コード一覧

コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語	コード	言　語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ-ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

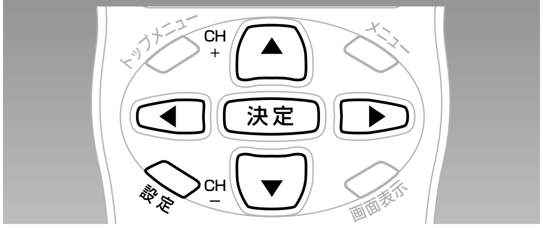
デジタルOUTの設定項目と出力信号の関係一覧

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24 ビットリニアPCMのDVDビデオ 96kHz リニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	出力しない	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリー ム		48kHz、16ビット ステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	出力しない	
MP3のCD-R/CD-RW	リニアPCM		

おしらせ　デジタル音声出力端子について著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

視聴制限を設定する[パレンタルロック]

DVDビデオ



DVDビデオの過激なシーンをカットしたり、他のシーンに差し換えたりすることができます。これをパレンタルロックと呼びます。

おしらせ
- パレンタルロックに対応していないディスクでは、この機能が使えません。
- 停止中に操作できます。

1 設定を押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀または▶を押して(その他設定画面)を選ぶ

3 ▲または▼を押して[パレンタルロック]の項目を選ぶ

4 決定を押す

- パレンタルロック設定画面が表示されます。
- 初めて設定するときは、[カントリーコード]の項目が選ばれます。
- ここで自動的に[パスワード]の項目が選ばれたときは、数字ボタン(1～9、0)を押して4ケタのパスワードを入力し、決定を押します。
- パスワードを3回間違えると、自動的に[EXIT]が選ばれます。決定を押して手順**3**からやり直してください。

5 ▲または▼を押して設定する項目を選ぶ

カントリーコード	:31ページのカントリーコード一覧を参照
セットレベル	:レベル1～8、なし
パスワード	:4ケタの任意の数字

6 決定を押す

7 各項目を設定する

次の項目が設定できます。設定が終了したら、必ず最後にパスワードを設定してください。

カントリーコード	▲/▼ でカントリーコード(☞31ページ)を選び、決定を押す。
セットレベル	▲/▼で制限のレベルを選び、決定を押す。数値が小さいほど制限が厳しい。「なし」は制限なし。
パスワード (必須)	数字ボタン(1～9、0)で4ケタのパスワードを入力し、決定を押す(毎回必ず設定してください)。

パスワードの設定を終えると、自動的に[EXIT]が選ばれます。

8 決定を押す

初期設定画面に戻ります。初期設定画面を消すときは設定を押します。

パレンタルロックを一時解除する

パレンタルロックを厳しく設定していると、ディスクによってはまったく再生できないことがあります。このようなとき、ディスクを入れるとパレンタルロックを一時的に解除するかどうか確認する画面が表示されます。

1 ▲または▼を押して[一時解除する]を選ぶ

2 決定を押す

自動的に[パスワード]の項目が選ばれます。

3 数字ボタン(1～9、0)を押して4ケタのパスワードを入力する

4 決定を押す

- 「違います。やり直してください」と表示されたときは、手順**3**からやり直してください。
- パスワードを3回間違えると自動的に[一時解除しない]が選ばれます。決定を押してから取出しを押し、ディスクを取り出してください。

チャイルドロックについて

本機に入れたディスクが取り出せないようにロックすることができます。これをチャイルドロックと呼びます。小さなお子様がいるご家庭などで、誤操作を防ぎたいときにご利用ください。

チャイルドロックを設定する

おしらせ
- 本機にディスクを入れた状態で操作します。
- リモコンでは操作できません。

本機の電源を切り(スタンバイ状態)、本体の(停止)を押しながら(取出し)を押します。
チャイルドロックを解除するときも同様の操作をしてください。

カントリーコード一覧

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

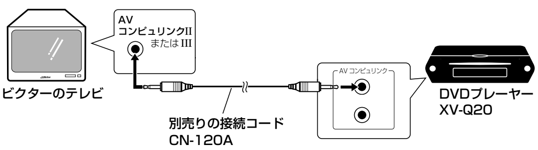
AVコンピュリンクの活用

接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクⅡまたはⅢ端子があるときは、別売りの接続コード(CN-120A)で本機のAVコンピュリンク端子とつなぐと、一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることができます。

接続と設定

おしらせ
- 接続する機器によっては端子名が「AV COMPU LINK端子」と表記されているものもありますが、同様の端子です。
- AVコンピュリンクモードの設定は、「その他設定画面」(☞ 28ページ)で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

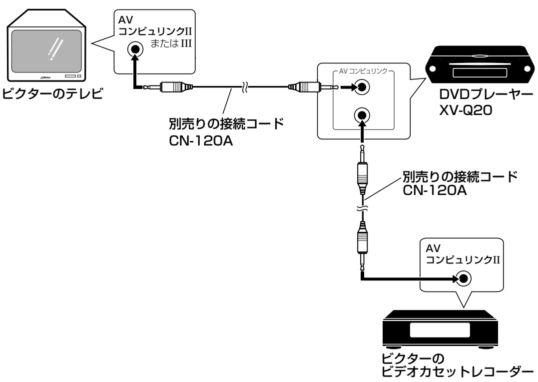
テレビとのAVコンピュリンク接続



テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	DVD２
ビデオ2のとき	DVD３
ビデオ3のとき	DVD１

- お買い上げ時の設定で使用する場合は、ビデオ3に接続してください。ただし、ビデオ3がDV／ムービー入力のときは、AVコンピュリンクが働きません。

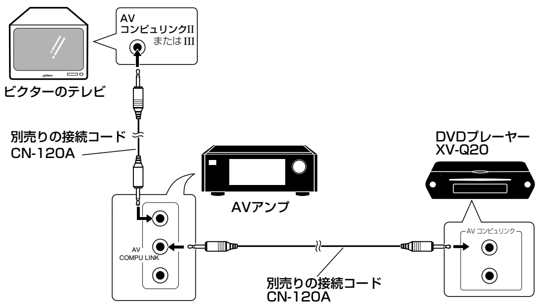
テレビおよびビデオカセットレコーダーとのAVコンピュリンク接続



テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ１のとき	DVD 2	B
ビデオ２のとき	DVD 3	A

- お買い上げ時の設定で使用する場合は、ビデオ3に接続してください。(DV／ムービー入力でないとき)。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビおよびAVアンプとのAVコンピュリンク接続



AVアンプの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD１

ご注意▶
- DVD以外の音声入力端子に、DVDの音声出力を接続すると正しく動作しません。
- D1映像出力をテレビにつなぐときは、本機のAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、AVアンプのSビデオ端子とは接続しないでください。

操作方法

1 テレビの主電源スイッチを入れる

2 ソース機器(本機やビデオカセットレコーダーなど)にディスク、またはビデオテープを入れる

3 ソース機器の再生ボタンを押す

- テレビの電源が入ります。
- テレビの入力切換が、再生機器を接続している外部入力(ビデオ1、ビデオ2またはビデオ3)になります。
- AVアンプの電源が入ります。
- AVアンプのソース切換が、再生ボタンを押した機器に切り換わります。

故障かな?と思う前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に以下の点検をしてください。

電源について

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
  ⇒ 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。☞ 10ページ

突然電源が切れる

- 節電のためのオートスタンバイ機能が「60」または「30」に設定されていませんか？
  ⇒ 設定を確認する。☞ 28ページ

操作について

各ボタンの操作ができない

- ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。
- ディスクによっては、まれに電源以外の操作ができなくなる場合があります。
  ⇒ 本体の⏻/I STANDBY/ONボタンを押して一度電源を切り（約10秒かかります）、もう一度⏻/I STANDBY/ONボタンを押して本機の電源を入れ直す。
- 落雷や静電気などの影響が考えられます。
  ⇒ いったん電源を切り、電源コードを接続し直す。☞ 10ページ

リモコンが働かない

- リモコン受光部の近くに本などの障害物がありませんか？
  ⇒ 障害物を避け、リモコンを本機に向けて、約5m以内で操作する。☞ 14ページ
- 乾電池が消耗している。
  ⇒ 乾電池を交換してください。☞ 14ページ
- 乾電池の極性（+、−）がリモコン内部の表示と合っていますか？
  ⇒ 正しくセットする。☞ 14ページ
- リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか？
  ⇒ 直射日光をさえぎる。

本機のリモコンでテレビが操作できない

- テレビが操作できるように設定しましたか？
  ⇒ 操作できるように設定する。☞ 15ページ
- TV/DVD切換スイッチが「DVD」側になっていませんか？
  ⇒ 「TV」側にする。☞ 15ページ

リモコンでDVDが操作できない

- TV/DVD切換スイッチが「TV」側になっていませんか？
  ⇒ 「DVD」側にする。

再生ができない

- DVDビデオの場合、本機とお使いのディスクのリージョン番号（ローカル番号）が異なっていると、再生できません。
- 本機で再生できるディスクですか？
  ⇒ ディスクを確認する。☞ 6ページ
- ディスクが正しく挿入されていますか？
  ⇒ ディスクを正しく挿入する。☞ 16ページ
- JPEGディスクの場合、本機で再生できるのはベースライン方式のJPEGファイルです。
- MP3ディスクの場合、パケットライト方式で作成されたディスクは再生できません。
- MP3ディスク内にMP3形式以外のトラック（ファイル）が含まれていませんか？
  ⇒ MP3以外の形式のトラック（ファイル）は再生できません。☞ 6ページ
- 視聴制限[パレンタルロック]が設定されていませんか？セットレベルによっては見られないディスクがあります。☞ 30ページ

静止画が再生できない

- JPEG以外の静止画が記録されていませんか？
  ⇒ 本機で再生できるのはベースライン方式のJPEGファイルです。

本体の表示窓にトラック番号が正しく表示されない

- MP3ディスクを再生している場合、グループ内のトラック（ファイル）が100以上のときは「T＊＊」と表示されます。

表示切換 ボタンを押しても表示が切り換わらない

- JPEGディスクを再生しているときは、表示切換 ボタンを押しても表示が切り換わりません。

順番どおりに再生されない

- MP3ディスクでは、グループ/トラックをアルファベット順に再生するため、市販のMP3ディスクを再生した場合、ディスクに記載されている順番とは異なって再生されることがあります。

正しく動作しない

- 本機を寒いところから急に暖かいところへ移動しましたか？
  ⇒ 機器内部に水滴がついています。1〜2時間待ってからお使いください。

初期設定画面が表示されない

- MP3ディスクまたはJPEGディスクが挿入されていませんか？
  ⇒ MP3ディスクまたはJPEGディスクを挿入しているときは、初期設定画面は表示されません。☞ 6ページ

映像について

映像が出ない

- ビデオコードが正しく接続されていますか？
  ⇒ 正しく接続する。☞ 10ページ
- テレビの入力選択が間違っていませんか？
  ⇒ 正しく選択する。
- D1映像端子とS映像端子を同時につないでいませんか？
  ⇒ どちらか片方をつなぐ。☞ 11ページ

映像が乱れる

- ディスクが汚れていませんか？
  ⇒ ディスクをクリーニングする。☞ 7ページ
- 本機とテレビの間に、ビデオデッキを接続していませんか？
  ⇒ 本機とテレビを直接接続する。☞ 10ページ

映像に細かいモザイクのようなものが出る

- デジタル収録された動画特有のもの（ブロックノイズ）であり、故障ではありません。

画面サイズがおかしい

- 画面サイズの設定が間違っていませんか？
  ⇒ [TVタイプ]の設定を、お使いのテレビに合わせる。☞ 27ページ
- テレビ側の画面サイズは合っていますか？
  ⇒ 正しく合わせる。

テレビ画面が暗くなる

- [スクリーンセーバー]が設定されていませんか？
  ⇒ 設定されているときは、いずれかの操作ボタンを押す。☞ 28ページ
- ベースライン方式以外のJPEGファイルを再生していませんか？
  ⇒ 本機で再生できるのはベースライン方式のＪＰＥＧファイルです。
  再生できないファイルの場合は、黒い画面になります。

音声について

音声が出ない

- 接続した機器の音量を確認してください。
- オーディオコードが正しく接続されていますか？
  ⇒ 正しく接続する。☞ 10ページ
- アンプの入力選択/操作が間違っていませんか？
  ⇒ 正しく選択/操作する。
- DTSで記録されたディスクの音声はアナログ出力端子から出力されません。
  ⇒ DTSデコーダーを搭載した機器をデジタル音声出力端子に接続してください。

テレビやビデオにくらべて音が小さい

- [Ｄレンジコントロール]の設定が「ＴＶモード」以外になっていませんか？
  ⇒ 音が小さいときは「ＴＶモード」にする。☞ 28ページ

音がひずむ

- [出力レベル]の設定が「標準」になっていませんか？
  ⇒ 音がひずむときは「小」にする。☞ 28ページ

その他

「言語」初期設定の設定項目が切り換えられない

- 再生中は[画面表示言語]以外の切り換えはできません。☞ 27ページ

音声／字幕言語の切り換えができない

- 複数の言語が収録されているディスクを挿入していますか？
  ⇒ 複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。☞ 22ページ
- 初期設定画面で切り換えられますか？
  ⇒ 音声ボタン/字幕ボタンで切り換えできなくても、初期設定画面で切り換えることのできるディスクもあります。☞ 27ページ

字幕が出ない

- 字幕の入っているディスクを挿入していますか？
  ⇒ 字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません。
- 初期設定で字幕言語が「オフ」になっていませんか？
  ⇒ 言語を選ぶ。☞ 22ページ
- A-B間リピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。

アングルが変えられない

- 複数のアングルが収録されている場面でのみ切り換えることができます。☞ 22ページ

扱えない機能がある

- MP3ディスクでは、次の機能を使うことは出来ません。
  リジューム再生・タイムサーチ・早送り/早戻し・A-Bリピート・3Dフォニック・スクリーンセーバー

画面に⃠が表示される

- 行った操作が禁止されているときに表示されます。

ディスクが取り出せない

- チャイルドロックが設定されていませんか？
  ⇒ 本体の表示窓に「EJECT LOCK」と表示されるときはチャイルドロックが設定されています。
  本機の電源を切った状態で、本体の■（停止）を押しながら⏏（取出し）を押して、チャイルドロックを解除する。☞ 30ページ

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っていませんか？
  ⇒ 取出しを押してディスクを取り出す。☞ 16ページ
  本体の表示窓に「NO DISC」と表示されているときは、ディスクは入っていません。

パレンタルロックのパスワードを忘れてしまった

- [パスワード]の項目で「8888」を入力してください。いままでのパスワードが無効になり、新しいパスワードが設定できるようになります。

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。なお、以上の項目をチェックしても直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 36ページ)の項をお読みの上、修理を依頼してください。

ご参考に

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（37～38 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

33～35ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー
型名	XV-Q20
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の底面に表示されております。

お願い

● 本機の故障、または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180		札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659		旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557		北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797		釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493		帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324		函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261		青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521		八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165		弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121		盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773		水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189		秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980		大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873		横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151		仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711		石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279		山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145		酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331		郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991		いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355		会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437		福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル1F
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル1F
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曜3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取S.C.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

1102

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

用語集

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1chです。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号(Y、CB、CR)と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。本機はD1端子を備え、D1〜D5 端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

Dレンジコントロール
ドルビーデジタル収録されたDVDビデオで、大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができる機能です。

JPEG (Joint Photographic coding Experts Group)
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、 インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。このJPEGフォーマットで記録したCD-R/CD-RWディスクを、本取扱説明書では「JPEGディスク」と呼んでいます。

MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このMP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RW ディスクを、本取扱説明書では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。NTSC以外のテレビ／ビデオ方式(PAL等)のDVD/ビデオCDは、NTSC方式に変換して再生します。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素(輝度:Y)と色(C)の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード(縦長の映像) を自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

VFP(ビデオ ファイン プロセッサー)機能
映像の微妙なチューニング(調整)を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY / C ディレイなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フイルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

3Dフォニック
従来のステレオ2スピーカー(前面の2スピーカー)のみで、迫力あるデジタル立体音場の「ドルビーデジタル」を再生する当社独自の技術です。前面のステレオ2スピーカーのみでリスナーを自然に取り巻くような立体のサラウンド音場効果をつくりだし、リアスピーカー、センタースピーカーやアンプの追加、配置、配線、調整が不要なシンプルな構成で「ドルビーデジタル」サラウンドを再生します。

高精細静止画機能
プレイバックコントロール(PBC)機能の一つで、ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

スクリーンセーバー
長い時間、静止画を映しているとテレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがありますが、これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

タイトル
DVDビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVDビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式(3チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVDビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり(チャプター)で区切った単位です。

トラック
CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド／ドルビープロロジック
サラウンド方式の一つです。ドルビーサラウンドは左右フロント+リア(モノラル)計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。
これにデコーダー側の処理で方向性強調回路(音の出ていないチャンネルのレベルを下げたり,逆に特定チャンネルの音量レベルを上げる)を取り入れて立体感を強調し、さらにセリフを中心に再生するセンタースピーカーを加え、その結果各チャンネルの分離精度(=セパレーション)を向上させたのがドルビープロロジックです。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つです。音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大フロント3ch、リア2ch、およびサブウーハー0.1chの5.1chまで対応しています。

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4 :3 のテレビに映し出す方法の一つで横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のことで一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

PBC(プレイバックコントロール)
ビデオCD (バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。PBCをオフにして再生するには、停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。

メニュー
DVDビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

メニュー再生機能
プレイバックコントロール(PBC)機能の一つで、ディスクの内容をいくつかの階層に分けて収録し、画面の指示にしたがって階層を進みながら再生していきます。

リニアPCM 音声
音声信号をデジタル信号として扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式です。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

レターボックス
映画などの横長の画像をアスペクト比 4:3 のテレビに欠けることなく映し出す方法です。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。

主な仕様

一般

再生可能ディスク：DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/RW（オーディオCD、ビデオCD、MP3、JPEGフォーマット、スーパービデオCD）、DVD-R/RW（ビデオフォーマット）
映像信号方式：JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式
電源：AC 100V（50Hz/60Hz）
消費電力：電源入時 10W/切（待機）時 0.4W
質量：1.7kg
外形寸法：（幅）218mm×（高さ）58mm×（奥行）270mm

ビデオ出力

映像出力：1.0V（p-p）/75Ω
S1映像出力：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω
C出力…0.286V（p-p）/75Ω
D1映像出力：Y出力…1.0V（p-p）/75Ω
C_B/C_R出力…0.7V（p-p）/75Ω
水平解像度：500本以上

オーディオ出力

音声出力（アナログ）：2.0Vrms/10kΩ
デジタル音声出力：
光…−21dBm〜−15dBm（ピーク）

オーディオ特性

周波数特性：
CD（サンプリング周波数 44.1kHz）…2Hz〜20kHz
DVD（サンプリング周波数 48kHz）…2Hz〜22kHz
DVD（サンプリング周波数 96kHz）…2Hz〜44kHz
ダイナミックレンジ：
16bit…98dB以上
20bit/24bit…100dB以上（JEITA）
ワウ・フラッター：
測定限界（±0.002% W.PEAK）以下（JEITA）
全高調波ひずみ率：0.006%以下（JEITA）

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

別売りのオプション品

- オーディオ／ビデオコード　：VX-35G　（モノラル音声テレビとの接続用）
　：VX-315E（モノラル音声テレビとの接続用）
- オーディオコード　：CN-510E
- 光デジタルケーブル　：XN-110SA
- S ビデオコード　：VC-S110E
- コンポーネントビデオコード　：VX-DS110（D プラグ〜Dプラグ）
　：VX-DS210（D プラグ〜ピンプラグ×3）
- DVD レンズクリーナー　：CL-DVDL

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
37〜38ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京 ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 FAX(06)6765-4891 〒500-0013 大阪市西区新町3-1-13 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0203YIYMODJSC